

# エネルギー生産への農山漁村資源の活用(現在検討中)

農山漁村に豊富に存在するバイオマス、熱等のエネルギー源を活用し、農山漁村の自立・分散型エネルギーシステムの形成に向けて、バイオ燃料等の再生可能エネルギーを効率的に生産・利用するための技術を開発する。

## (背景と課題)

「バイオマス活用推進基本計画」で掲げられた、炭素量換算で約2,600万tのバイオマス利用の目標等を達成するためには、草本、木質、微細藻類から効率的・低コストでのバイオ燃料等を製造する技術開発が必要。「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」に掲げられた「エネルギー生産への農山漁村の資源の活用を促進する」ためには、再生可能エネルギーをより効率的に生産・利用するための農山漁村型スマートビレッジ技術の開発が必要。

## (研究内容)

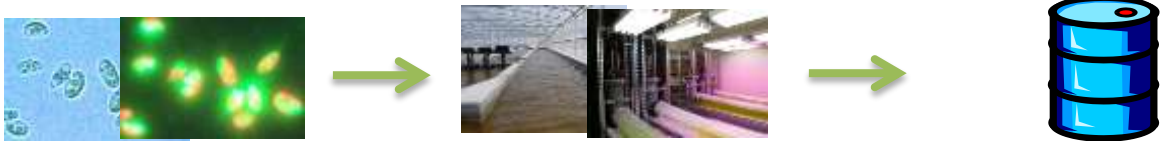
### ○ 草本を利用したバイオエタノールの低コスト・安定供給技術の開発



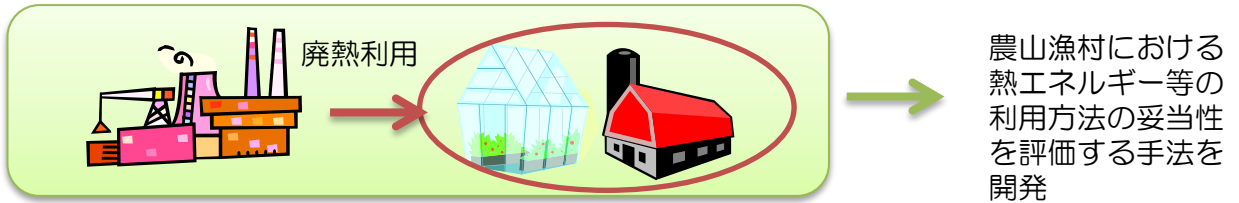
### ○ 林地残材を原料とするバイオ燃料等の製造技術の開発



### ○ 微細藻類を利用した石油代替燃料等の製造技術の開発



### ○ 再生可能エネルギーの最適な生産・消費等の分析評価方法の開発



## (到達目標)

- 草本からのエタノール製造コスト目標：100円/L
- 木質からの石油代替燃料製造コスト目標：80円/L
- 微細藻類からの石油代替燃料製造コスト目標：80円/L
- 再エネの最適な生産・消費等の分析評価方法の開発